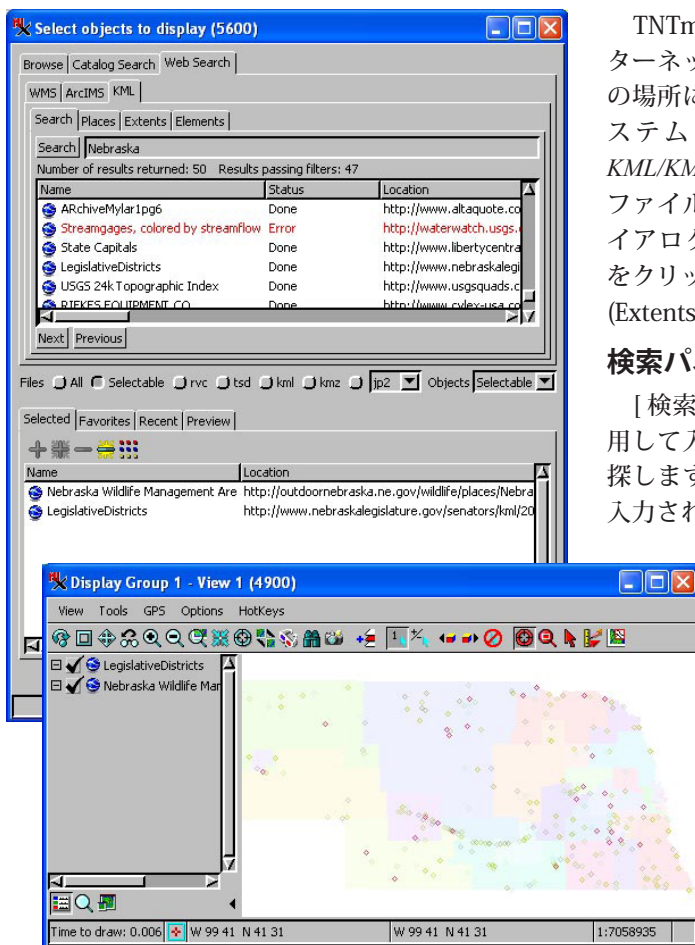


インターネット上の KML ファイルの検索



TNTmips を利用して、地名、範囲、要素数などをベースにインターネットを検索し KML ファイルを探すことができます。既知の場所にある KML ファイルの直接利用はテクニカルガイド「システム：KML/KMZ ファイルの直接使用 (System: Direct Use of KML/KMZ Files)」で解説されています。インターネットで KML ファイルを探すには、〈オブジェクトの選択 (Select Objects)〉ダイアログを開き、[Web を検索 (Web Search)] タブ、[KML] タブをクリックし、それから [検索 (Search)]、[場所 (Places)]、[範囲 (Extents)]、[要素 (Elements)] タブなどから選びます。

検索パネル

[検索] パネルの [検索] ボタンは Google の検索エンジンを利用して入力テキストを含む KML ファイルをインターネットから探します。[検索] ボタンをクリックする時点で検索テキストが入力されていない場合は、インターネット上に公開されている全ての KML ファイルを検索します。最初の 50 個のファイルに対してダウンロードするために、範囲や説明、要素数などの情報の提供が求められます。ダウンロードが成功すれば KML ファイルの一覧がすぐに表示されます。検索結果一覧で [ステータス]、[名称]、[位置] カラムは水平スクロールしなくても見えています。他に [説明]、[作成者]、[要素数]、[レイヤ範囲] があります。

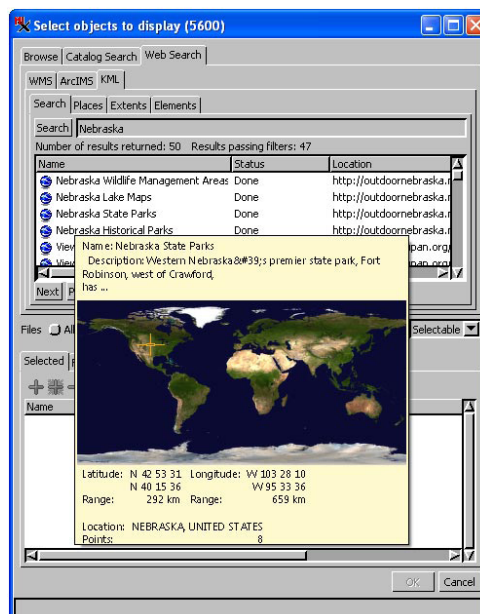
検索結果のステータスと色

マイクロイメージ社が作成、管理しているカタログを使用する WMS と ArcIMS レイヤの Web 検索とは違い、KML ファイルの検索は [検索ボタン] を

押した時インターネット全体にわたって行われます。はじめに検索したいテキストを入力して [検索] ボタンをクリックするか、何もテキストを入れずに [検索] ボタンをクリックします。ファイル名や説明に含まれるテキストに関係なく [範囲] パネルと [要素] パネルで定義したパラメータに従ってダウンロードするファイルのフィルタリングが行われます。検索結果の中の [ステータス (Status)] カラムは、KML ファイルのダウンロードが完了したか、ダウンロード中か、入力したフィルタリングパラメータと一致したか、ダウンロード中にエラーが発生したかを示します。普通 KML ファイルは小さいので、ダウンロード中のステータスを見ることはないかもしれません。ファイルのダウンロード中は緑色の文字、ダウンロードが成功したファイルは黒い文字、ダウンロードがエラーとなったファイルは赤い文字で表示されます。ファイルのダウンロードが成功しても [範囲] や [要素] タブパネルで入力したフィルタリングパラメータと一致しない場合はオレンジ色で表示されます。フィルタ適用の有無にかかわらず同じ数の KML ファイルがダウンロードされます。フィルタリングの基準に合うかどうか評価するために KML ファイルは一度ダウンロードされる必要があるからです。(後の [範囲] パネルと [要素] パネルを参照)。

検索結果のデータティップ

検索結果の [ステータス] か [名称] フィールドの上にマウスを置くと、検索結果行に表示されている全情報の他、その地理的位置を地球上に示すデータティップが表示されます。また、そのデータの地理的範囲 (南北



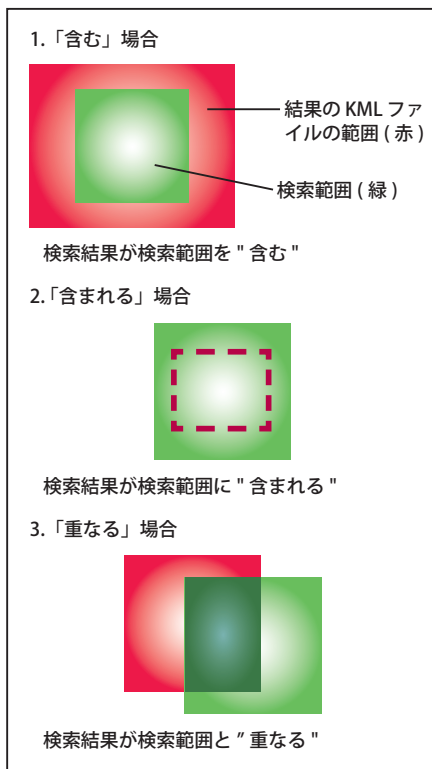
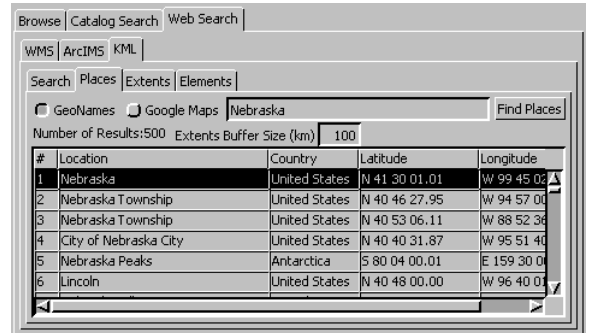
および東西方向の範囲から計算した距離)と州や県や国に関する情報がグラフィック・データタイプとして表示されます。KML ファイルに範囲情報が無い場合、地球の図や範囲に関する情報は表示されません。

KML ファイルの検索結果は TNTmips の一時ファイルと同じ場所に一時ファイルとして保存されます (クイックガイド「Windows でのテンポラリファイル管理 (Manage TNT Temporary Files in Windows)」、 「Mac OS X でのテンポラリファイル管理 (Manage TNT Temporary Files in Mac OS X)」を参照)。ダウンロードして、まだ表示や他の処理で選択していない KML ファイルは、〈オブジェクト選択〉ウィンドウを閉じた時点で一時ディレクトリから削除されます。

前述のように、一度に 50 個の KML ファイルがダウンロードされます。検索結果リストの下にある [次へ (Next)] ボタンを使えば次の 50 個のダウンロードが可能です。次に見つかった 50 個の KML ファイルもダウンロード後一覧表示されます。検索結果リストの上に、設定した範囲と要素数のフィルタをパスした結果の数の他、検索結果の数が表示されます。

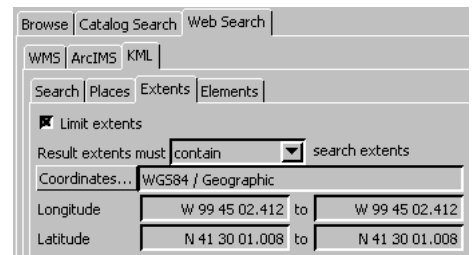
場所パネル

GeoNames(無料の地理データベース・プロジェクト)や Google マップのデータベースを利用した地名の検索ができます。GeoNames と Google マップの検索は入力テキストにより特定されたポイント位置を返しますので、そのポイントの周囲に発生するバッファ (緩衝領域) の範囲を指示します ([場所] パネルの [空間バッファサイズ (Extents Buffer Size)] フィールド)。100km のバッファサイズは、矩形範囲の各辺までの最短距離がポイント位置から 100km であることを意味し、ポイントを中心とした 1 辺が 200km の矩形範囲になります。[範囲] パネルの座標値は GeoNames や Google マップの検索結果一覧からある 1 つの場所を選んだ場合のポイントの位置とバッファサイズから自動入力されます。同時に [範囲制限 (Limit extents)] トグルがオンになります。その後 [検索] パネルに戻り、範囲フィルタの設定に一致する KML ファイルがダウンロードされます。検索テキストを入力していなければ検索結果は指定した範囲だけから限定されます。



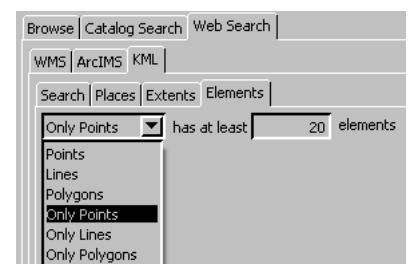
範囲パネル

[範囲制限 (Limit extents)] トグルボタンをオンにすると、地理的範囲を定義するフィールドが有効になります。[場所] パネルを使って GeoNames や Google マップデータベースで地理的名称を検索した場合、その領域範囲が選択した場所やバッファサイズに基づいて自動的に入力され、[範囲制限] トグルボタンが自動的にオンになります。範囲を限定する方法として、「含む」、「含まれる」、「重なる」の 3 つの方法があります。「含む」は結果の KML ファイルの範囲が [範囲] パネルで示される検索範囲を含むか同等の場合です。「含まれる」は結果の KML の範囲が検索範囲に含まれるか、同じ場合です。「重なる」は結果の KML ファイルの地理範囲が [範囲] パネルで示される検索範囲内のどこかに収まれば範囲フィルタをパスできる、というものです。その時の表示画面の範囲やアクティブなグループの範囲に検索結果を一致させることもできます。レイヤの位置に対して別の範囲を入力することもできます。



要素パネル

このパネルを使うと検索される KML ファイル中の要素の最低数に対してフィルタリングすることができます。見つかったファイルには 1 つの要素タイプのみ (例えば、ラインのみ) とか、複数の要素タイプの混在を許すとかを指示できます。複数の要素タイプを許す場合、指定した要素タイプに対する最低数を入力します。他のタイプの要素の数は制限されません。



上の要素設定では、ポイントのみを含み (ラインやポリゴンは含まず)、最低 20 ポイントが存在する KML ファイルだけが黒文字で表示されます。